

■ 24年1月 令和6年能登半島地震支援・募金活動

1月1日能登半島で発生した大震災に対して1月3日から3月末まで、宅配・店舗・職員で緊急募金に取り組み、2,354万円の募金が寄せられ、日本赤十字社福井県支部と福井県共同募金会に各1,000万円を義援金として贈呈しました。

被災地への支援活動として1月8日より1週間毎日10名の職員をコープいしかわに派遣し宅配を支援しました。以後も継続して宅配支援や共済訪問活動を行いました。さらに福井県からの要請を受け、支援物資をお届けしました(缶詰3,240個、水600本)。また、福井県介護福祉士会からの要請を受け、石川県の1.5次避難所に福祉職員を派遣しました。



■ オリジナル防災セット

令和6年能登半島地震の発生を受けて日頃の災害への備えを行っていただくために、福井新聞社との共同企画で3月にオリジナル防災セット企画を行いました。



■ 豪雨支援活動

2022年8月南越前町での豪雨災害を踏まえ、災害発生時に支援用タオルを迅速に対応できるように年2回組合員からタオルの回収と備蓄を行ってきました。

2023年7月北九州での災害に対してコープおおいた及び生協くまもとより要請を受け、緊急で備蓄のタオル2,000枚を大分県に、310枚を熊本県に発送しました。2023年9月の台風13号による大雨被害に対してもいばらきコープより要請を受け、1,130枚を茨城県に発送しました。コープおおいた・生協くまもと・いばらきコープを通じて、被災地の災害支援に活用いただきました。



■ BCP対策

大雪への備え 除雪車導入

この間の豪雪を受けて、大雪への備えを強化しました。大型のホイールローダ(除雪車両)を、各地区本部に2台ずつ配備しました。これまで大雪時には、業者に委託して駐車場を除雪していましたが、自前で除雪ができるようになり、雪の日の組合員の駐車場の利用のしやすさや、配送拠点での対応力強化につながりました。



▲ホイールローダ(除雪車両)

■ 東日本大震災支援活動の継続

被災地を支える

福島ひまわり里親プロジェクトに大野・勝山きらめきの職員と組合員が参加しました。

東日本大震災後、福島県の障がい者福祉施設で仕事ができなくなり、困っているのをなんとか助けたいと始まったプロジェクトです。



▲ひまわり里親プロジェクトの大野きらめき

被災地を忘れない・ボランティア活動を支える

岩手県陸前高田市の桜ライン311(植樹ボランティア活動)に対して、桜の苗木の寄付に取り組んでいます。

